

FOCUS

追いかける。大学生。

神女院大放送愛好会

学生が作るラジオ番組

平成20年創部で、現在20人の部員が所属している神戸女学院大の放送愛好会。毎年行われる愛校バザーの校内アナウンスなど様々な活動がある中で、「キャンパスinにしのみや」というローカルラジオ番組の企画、収録も行なっている。今回は部長と副部長として活躍する2人に話を聞いた。

部長の西川美咲さん(右)と副部長の山本美沙子さん(左)



「キャンパスinにしのみや」は、西宮市のコミュニティラジオ局であるさくらFM(78・7MHz)で放送されている。市内に多くの大学があることを生かして、学生がそれぞれの感性を住民などにアピールしていくことがコンセプトの番組だ。毎週土曜日と日曜日の午後11時から始まる30分番組で、西宮市内の4大学(関西学院大・神女院大・武庫川女子大・大手前大)の放送部が持ち回りで担当しており、神女院大の放送愛好会は、毎月第3週目を担当し

ている。肝心の放送内容だが、全ての担当の放送部に任されておき、ラジオ局は収録のためのブースを貸し出すぐらいだという。内容は各大学様々で、神女院大はフリートークや市内のおすすめスポットの紹介コーナーがあり、時にはゲストを呼ぶなど、いかにもラジオ番組といった内容だ。実際に同局のディレクターからも「女学院が一番ラジオ番組らしい」と言われたこともあるという。一方で武庫川大は、アナウンス能力の向上に力を

大学生から市民に発信

入れていることもあり、自分たちで作った話を読み聞かせという形で朗読するコーナーを設けている。

毎月定期的に番組を制作していく中で苦労も多い。特に時間に関する制約が多く、「学業もあるので活動にあまり時間をかけられない。収録の時には時間内で録り終わらないといけないので、一発で決める力が必要になってくる」と部長の西川美咲さん(神女院大・3年)は話す。

また公共の電波にのせるため発言を選ばなければという気持ちと、かといって堅苦しくしては大学生らしくない内容になってしまおうという気持ちの間で、様々なことを考えながら話しているという。

実際にタクシーの運転手や地元の人などリスナーから「聞いてますよ」という反応をもらった時は、嬉しいと思う反面「もっと私たちと同じ大学生にも聞いてほしい」と本音を覗かせる一面も。大学生を取り込むために、おすすめスポットでカフェを紹介した際、ラジオを聴いた人に割引きなどのサービスをしてもらうように店と交渉するなどの工夫も行っている。

人と話すのが好きで、現在は先生を自指し教職課程を履修する西川さん。部長として

の仕事や、ラジオ番組内で話を回す経験が、まとめ役の良い練習になっているという。放送愛好会に入ったのも、あるアナウンサーが話した「放送は1対多数のコミュニケーション」という話を聞いたのがきっかけだ。

そんな西川さんが目指しているのは、放送愛好会から、同好会へ、さらには部へと格上げすることだ。活動年数も考慮に入れられるため、創部から日が浅い状態ではなかなか難しいそうだが、実現に向け精力的に活動していく。

(聞き手=香月隆彰)

できたばかりの神女院大放送愛好会ブログのアドレスは <http://blogs.yahoo.co.jp/kobecollegebroadcast/>



UNN関西学生報道連盟

配信・発行 (C) UNN 関西学生報道連盟 (公式HP) <http://www.unn-news.com/>

共同編集室 〒532-0011 大阪市淀川区西中島 4-2-24 ダイニホンビル 4F

(TEL) 06-6307-1315 (FAX) 06-6829-6353 (MAIL) info@unn-news.com

FOCUSは

神戸大学ニュースネット委員会
同志社大学 PRESS 編集部
NEWS 立命通信社
関学新月通信社
大阪大学 POST 編集部

関西大学タイムス編集部
神戸女学院大学 K.C.Press 編集部
京都女子大学藤花通信編集部
京都大学 EXPRESS 編集部

の共同編集による週刊フリーペーパーです